



ボタニカルニュース ～牧野公園情報～

◇ 8 月に見頃のお花♪

フシグロセンノウ
(節黒仙翁)
ナデシコ科マンテマ属。山地に生える多年草。絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。
花：7～8月頃



カリガネソウ
(雁草)
シソ科カリガネソウ属。和名は花の様子を雁の首に見立てたことに由来。
花：8～9月頃



ヒオウギ
(檜扇)
アヤメ科アヤメ属。日当たりの良い草原に生える多年草。
花：7～9月頃



◇ 自然の趣を大切にしたい公園を目指して♪
梅雨の季節にたっぷり水分補給をした植物たちは、夏の日差しを受けグングン成長しています！もちろん、雑草たちも同じ勢いで伸びてくるので、毎年この時期は作業メンバーたちを悩ませていきます。そんな牧野公園では、自然に近い姿で植物を育てようと、除草作業はできる限り自然な姿を意識して行っています。訪れる際は、植物たちの生命力と作業メンバーたちのせめぎ合いを想像しながら、楽しんでもらえると幸いです☆



まちまるごと植物園 ～まちの植物情報～

machimarugoto syokubutsuen

◆ 佐川中学校鉢上げ会

5月22日に佐川中学校しあわせクラブの生徒が、校庭のお手入れと鉢上げを行いました。経験組は新加入組に教えながら、楽しく今年度の活動を開始しました。引き続き水やり・お手入れを頑張りましょう！



◆ 尾川中学校観察会

6月3日に尾川中学校の生徒が牧野公園を訪れ、観察会を行いました。観察会の中では、はなもりC・LOVEの想いについて話を聞いたり、散策しながら写真を撮ったり…。これからの活動に生かしてくだ

さいね♪
また、各学校の生徒たちがこれまでの活動で育てた苗は、それぞれの学校や、役場、牧野公園などですくすく成長しています。生徒の皆さんも注目してみてください♪



上：観察会の様子、下：生徒たちが苗から育てた植物

青山文庫だより

特別展の準備をしています

「浜田辰弥」と聞いて、誰の事かすぐわかりますか？「こうけんさん」の呼称でよく知られている田中光顕が、江戸時代に佐川で暮らしていた時に名乗っていた名前です。

今の私たちのほとんどは、苗字と名前の2種類だけを使っていますが、江戸時代のお侍さんたちは、氏（一族の姓）・苗字・通称（一般的に用いられる名前）・諱（実名）の4種類を使い分けていました。そして、通称や諱は一つではなく、成人や就職など特別な事を契機に、変わる事がよくありました。

佐川時代の光顕の場合、苗字は浜田、通称は辰弥、諱は光正です。脱藩した後、苗字を田中と、通称を顕助と改めます。そして、明治以降は、今ののように、苗字と名前のみの使用となりますので、田中光顕を名乗ります。

過去に詳しく紹介した事がありますが、光顕の先祖は、戦国時代に長宗我部氏に仕える武士で、江戸時代になって山内家が入国すると、浪人（もしくは百姓）として、佐川領へやって来たようです。

そして、3代佐川領主・深尾重照の時代に、妻が乳母として召し出された縁で、深尾家の家臣となります（恐らくは足軽などの軽格）。

この浜田家、光顕の祖父の時代には、役所で実務を担当する中間層に位置する家に成長しています。ただし、佐川深尾家の一部の上級家臣を除いた、ほとんどの家臣は「陪臣（深尾家が独自に雇用した家臣）」であつたため、土佐藩の家臣ではありません。浜田家も、佐川領では士格（武士）の家ですが、高知城下では士格として扱ってもらえなかったそうです。

この様な家に生まれた田中光顕が、どのように志士となり、幕末を生き抜き、明治という新しい時代の国づくりに参加し、何を後世に残そうとしたのか、9月からはじまる特別展で紹介する予定です、現在準備を進めています。

少し先の話ではありますが、みなさんにぜひ見ていただきたいと思います。楽しみにしててください。

（青山文庫 藤田有紀）

△ 展示案内▽

○春の企画展「志士たちの遺墨」

○小展示「西谷文庫の世界」

9月6日（日）まで延長開催

文芸

川柳

子育ての 昔ばなしは 芋と麦
ハンカチは 今でも白い 戦中派
地獄絵に 溜め息をつく 虐めっこ

病して 劫の一つは 破はれて 和田 憲一

俳句 東 聖（ペンネーム）

解禁で 賑わい戻る 鮎の川 味元 佐知子

朝涼や これも労働か テレワーク 東 聖（ペンネーム）

短歌

人間様がスマホ片手に打ち込んで
こちらの世界見たいんだとき 東 聖（ペンネーム）

睡眠を突きやぶるかに地震ありて
寢床にしばし入るをためらふ

手渡しにお釣りもらうも久しかり
トレイの上じやなくて良かった

紫陽花は七変化するつゆの花 黒岩 英起

池川の高くそびゆる森の中

若葉香りて深呼吸する 福寿草（ペンネーム）

※応募多数により抽選しました。

応募先：佐川町教育委員会社会教育係
〒789-1201 佐川町甲356-2
電話 22-11110 FAX 22-0070

川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか？

※ 10月号への掲載を希望される方は9月1日（火）まで

投稿方法：氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、ファックスにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。